

登壇

第63号
平成29年8月号

発行
相生市教育委員会
相生市人権教育研究協議会

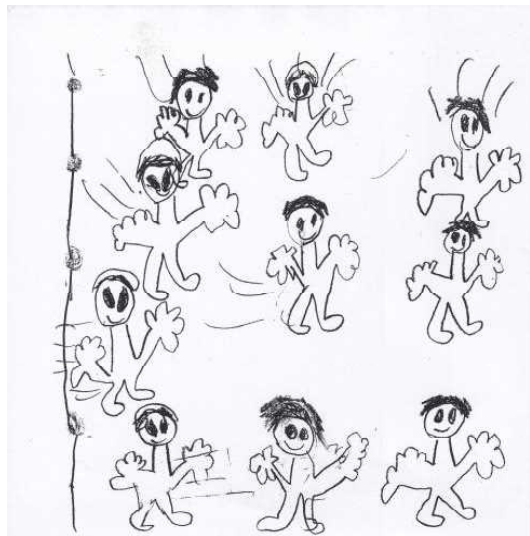
8月は、「人権文化をすすめる 県民運動」推進強調月間です！

「人権文化」とは

日常生活の中で、お互いの人権を尊重することを、自然に感じたり、考えたり、行動することが「当たり前」になった生活をいいます。

「ぜんこうおにぎり」

きょうは、たのしかったです。4ねんせいがおにでした。



うれしかったことがあります。それは、1ねんせいのおともだちが、さいこのほうまでのこったことです。4ねんせいがおにだったのに、すごいとおもいました。こんどはぼくもがんばりたいです。

(小学1年生)

「学校たんけんをしたよ」

1年生といっしょに学校たんけんをしました。わくわくペアでかつどうします。学校のいろんなきょうしつにいて、わたしたち2年生がせつめいをします。はじめは、「じょうずにいえるかなあ。」と、ドキドキしたけれど、だんだんやるきがでてきました。



1年生のこに、「おねえちゃんにおしえてもらって、うれしかったよ。」と言ってもらって、とてもいい気分になりました。

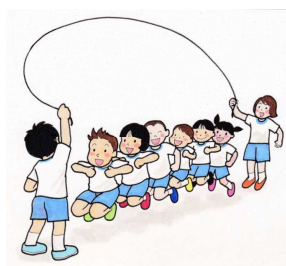
(小学2年生)

「体育でうれしかったこと」

今日、体育の時間に大なわをしました。わたしがひっかかってしまったときに、友だちが、「気にしないでいいんだよ。」

と言ってくれました。おちこんでいたので、やさしい言葉をかけてもらってとてもうれしかったです。こんどは、わたしもそんなやさしい言葉を友だちに言いたいな。

(小学3年生)



「おじいさんとぼく」

ぼくの家のまわりにはたくさんのおじいさんとおばあさんが住んでいます。みんなまだまだ元気です。今は、ぼくたちがおじいさんやおばあさんにいろいろなことを教えてもらったり、遊んでいるのを見回してもらったりして、助けてもらっています。

みんなもっと年をとったら、今度は、ぼくたちが助ける番だと思います。



ぼくは、幼稚園のころから近くの高れい者しせつによく行っています。そこには、歩くのがたいへんな人や、お話することができにくい人もいました。年をとると、みんな体が思ったように動かなくなるみたいです。

もし、ぼくのまわりのおじいさん、おばあさんたちがそうになったら、ちょっとでも助けたいです。

でも、どうやって助けたいのかわからないので、そんな勉強もしたいです。

(小学4年生)

「うれしい言葉」

ある日、私は、いつもなかよくしている友だちと口げんかをしてしまいました。私は、もやもやした気持ちで帰り道を歩きました。隣には仲のよい友だちがいたけど、いつもより話すことができませんでした。なぜなら、いやな気持ちでいるのに、急に楽しい話やおもしろい話はできないし、暗い話をしてもし方がないと思ったからです。



しずんだ気持ちで帰っていると、友だちが言ってくれた言葉で心が温かくなりました。それは、「だれが何を言っても、私は○○ちゃんの味方やで。」です。私はその言葉だけでうれしかったです。いつもみたいに、「大丈夫？」って聞いてくれてもうれしいけど、今日の言葉は、今までで一番うれしい言葉でした。

(小学5年生)

「集団訓練をしました」

今日の集団訓練でカレーを作ったことが一番心に残りました。火おこしをしたり、お米を洗って炊いたりと難しい作業が多かったのですが、大変でした。でも、班で協力して作ったカレーは、とてもおいしかったです。がんばってよかったなと思いました。

また、学年リクリエーションでは、今まで体育でやってきた集団行動の練習の成果を発揮できました。大なわは、負けてしまったけど、楽しかったです。

今日の集団訓練は、班のみんなのいいところをたくさんみつけれましたし、普段の生活の中では学べないようなこともたくさん学ぶことができたのでよかったです。これから、今日学んだことを中学校生活の中でいかしていきたいと思います。

(中学1年生)

「トライやるで経験できたこと」

私は、トライやるで事業所の方やお客さんとたくさんかわかることを楽しみにしていました。そして、笑顔で気持ちのよいあいさつをすることと、任された仕事を最後まで一生懸命することを目標にしていました。

つらかったことはありませんでしたが、仕事が終わりが家へ帰ると疲れて、仕事をすることはしんどいことだなあと感じました。

一週間のレストランでの仕事の中で、たくさんの方と話をすることができとてもうれしかったです。レストランにお客さんが来られたとき、焦ってしまい仕事をすばやく終わらせることができませんでした。これからは、何事も一つ一つを整理しながら、すばやく終わらせることができるようにしたいです。

また、事務所の方が笑顔で接してくださり、とてもうれしかったです。今後、トライやるでの体験を生かし笑顔を大切に、初対面の方でも笑顔で話したいと思います。

「平和の思いが

伝わってきた三日間」

私は、この三日間の沖縄への修学旅行で、今までにないほどの苦しみや願いを知りました。

心に残った場所の一つ目は、ひめゆり平和祈念資料館です。沖縄師範学校女子部と県立第一高等女学校の生徒たちがひめゆり学徒隊をつくり、沖縄陸軍病院で必死に働いて人を助ける、そんな辛い生活の中で身をかくしながら生きていたと知ると涙ができました。

わずか三十日で男子1489名、女子414名、教師103名、計2006名が息をひきとったということを知ったとき、たった三十日の戦争で、自分の人生そのものが変わってしまうという恐怖が私にも伝わってきて、鳥肌がたちました。

資料館の中にあつた女子生徒の顔と名前が数え切れないほど多く、まだ未来は自由だったはずのこともたちがこんなにも亡くなったと思うと、

胸が苦しくなりました。また、顔の写真が一人だけなくて、その子の顔はもう二度と見ることもできないと思うと、戦争への憎しみがわきてき



て、そのあとに見た、めがねやカバン、小さなポーチのようなものが焼けこげになつた姿を見て、また泣きました。

二つ目はアンティラガマです。中に入るとき真っ暗で、こんな暗い所で殺される恐怖を抱きながら生きていくのは、私にはできないことだと思いました。赤ちゃんや女性、力のない人々がここで亡くなったと思うと、戦争への憎しみが増す一方で、戦争という言葉がない平和な世界が早くできないかなと思いました。

(中学3年生)

「ソーシャルサイトのリスク

「トラフルから身を守るために」を聞いて



スマートフォンを買ったときに母と決めたことの中に、「ツイッター禁止」という項目

があります。その時は不本意ながらも承諾しましたが、今回の講演を聞いて、今はそうしておいてよかったと思いました。中学生の頃からネット社会の危険性についての講演は度々聞いていましたが、関係

ないという気持ちが強かったです。高校に入学し、スマートフォンを手にして、身近なものになったことで、はじめて自分のこととして話を聞くことができました。

友だちと簡単につながれるSNSは便利だけれど、設定一つでトラブルに巻き込まれるのはとても怖いです。何気ないひと言が相手のその後の人生を大きくかえることもあります。そして、責任は全て自分自身にあります。スマートフォンを使い始めてまだ一ヶ月ほどの私は、何もわかっていませんでした。そのことを痛感しました。今回の講演で学んだ情報を生かし、スマートフォンを正しく使っていこうと思います。

(高校3年生)

相生市ケータイスマホ三か条

【人間関係について】

その言葉 相手の目を見て話せるか

【時間について】

あとちよっと その気持ちが 長時間

【危機防止について】

そのサイト 一度入ると

犯罪者



家庭対話ウィーク

家族で対話を

7月21日(金)～7月27日(木)の1週間を家庭対話ウィークとしています。

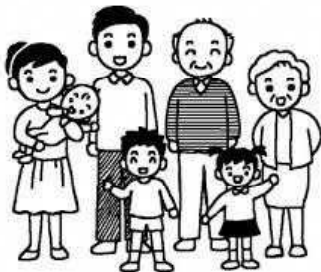
家庭はすべての教育の出発点

子どもたちにとって「家庭」は、安らぎのある楽しい居場所。社会へ巣立っていくために欠かせない場所。

大人の笑顔が、子どもの笑顔をつくり、子どもの笑顔が、大人の活力につながります。

家族の大切さ

かけがえのない大切な家族。楽しいことも嫌なことも、あなたのいろいろな感情すべて受け止めてもらえる、かけがえのない居場所。



今は日常の普通のことも、永遠でないからこそ、今一度、家族の大切さを確かめておきたいものです。

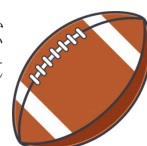
人権の集い

出演 大畑 大介さん

講演 「ラグビーが教えてくれた信じる力」
信頼と個性の尊重でつくる絆

2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップの成功へ向けて活動中です。

また、2016年には日本人二人目となる、ワールドラグビーの殿堂入りを果たされました。



日時 8月9日(水) 18時00分 開演

会場 扶桑電通なぎさホール大ホール

非核平和展

日時 8月3日(水)～7日(月) 9日(水)
会場 扶桑電通なぎさホール

(1階エントランスホール)

内容 非核平和ポスター、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネルの展示等

ふれ愛シネマ

作品名 「ひまわりと子犬の7日間」

日時 12月16日(土) 14時30分 開演

会場 扶桑電通なぎさホール大ホール

西播磨人権のつどいの中で「人権シネマ」としての開催となります。

※すべて入場無料